

寒い冬…水道管も凍ります 万全な冬支度を！

気温-4℃以下は危険信号

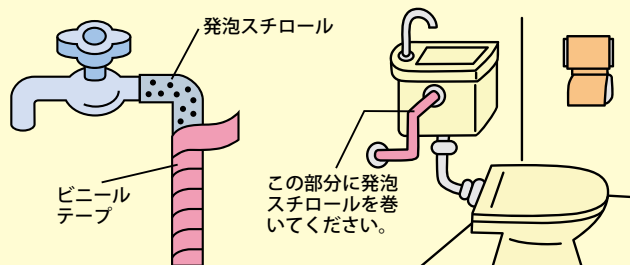
水道管の凍結・破裂は、気温が上がらない日が何日か続いた時や朝の冷え込みが厳しい時(-4℃以下)に多く発生します。水が出なくなったり凍結による破裂事故が発生したりすることもあり、修理費用が高額になってしまう場合もあります。早めに水道管の冬支度を整えましょう。

☎営業課…☎(228) 3867

凍結から水道管を守るには

▶水道管を保温する

露出している水道管は、発泡スチロール・布切れなどを巻いて保温しましょう。



▶給湯機器にも防寒対策をする

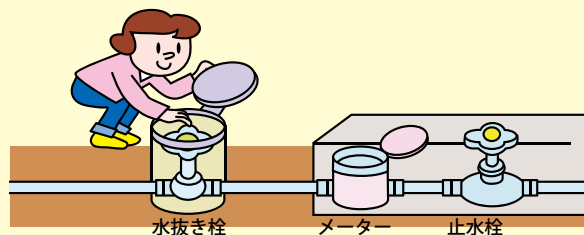
温水機器や給湯配管も凍結・破裂する場合があります。少量の水を出したり水抜きをしたりするなど防寒対策をしましょう。

また、防寒用機能を備えた機器もあるので、ご利用をおすすめします。不明な点は機器メーカーやガスなどの供給会社へお問い合わせください。

▶水抜きをする

夜間や長期間水道を使わない時は、水抜きをしておきましょう。水抜きをする時は、水抜き栓(不凍栓)バルブを右いっぱい回し、必ず蛇口を1か所開けてください。

※水抜き栓バルブは、開・閉ともいっぱい止まるまで回さないと漏水する恐れがあります。



▶水を出しておく

水抜き栓がないご家庭や翌朝特に冷え込みが予想される時は、前夜から箸の太さくらいに水を出しておくのも有効です。

水道管が凍結した時は

水道管が凍結した時は蛇口をいっぱい開け、タオルをかぶせ、ゆっくりぬるま湯をかけて温めてください。一気に熱湯をかけると、蛇口や水道管を傷めるだけでなく、やけどなど思わぬケガのもとになります。

水道管が破裂した時や上記の方法で凍結が融けない場合は、**甲府市管工事協同組合**〔☎(228)8851〕または最寄りの**指定給水装置工事事業者**〔上下水道局ホームページ(<http://www.water.kofu.yamanashi.jp/>)に掲載]へ修理を依頼してください(修繕費は自己負担)。

※破裂した時は、止水・水抜き栓で水を止めてください。

◆受水槽がある建物は

受水槽が設置されている3階以上のビル・マンションでは、建物の所有者が受水槽の維持管理を行います。

故障や破裂などの場合、建物の所有者・管理人に連絡して修理を依頼してください。

「こうふ水道水源シンポジウム」を開催しました

多数のご来場、誠にありがとうございました

市の水道事業が給水開始から100周年、また下水道事業が供用開始から50周年を迎えたことを記念したシンポジウムを10月12日に開催しました。

シンポジウムの中では、記念事業として実施した絵画コンクールと俳句大会の表彰式、水道・下水道の歴史を紹介する記念映像の上映を行いました。また、俳優の柳生博さんから、現在お住まいの八ヶ岳南麓での実体験を交えた森と人との繋がりなど、山梨大学の風間ふたば教授から、荒川上流の森林が水質管理に果たす役割などの講演がありました。